

全難聴女性部だより 第32号

平成26年8月15日発行 発行人:永末淑子 編集:事務局



残暑お見舞い申し上げます

女性副部長 伊藤 雅子

日頃は、全難聴女性部活動にご支援とご協力をたまわり感謝申し上げます。猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？気温上昇にともない、熱中症にかかる人が急増しています。予防には、こまめに水分補給が欠かせませんが、発汗で体内の塩分も失われるとのことで果実や梅干を口にするのもミネラルを補うために良いそうです。

さて、「全国中途失聴・難聴者福祉大会 in 三重大会」が10月25日(土)～10月27日(月)の3日間、四日市市文化会館で開催されます。第3分科会を、女性部と制度改革の合同で担当します。テーマは「難聴女性の差別解消を考える」です。サブテーマは「人間らしく生きるために障害のある人もない人も共に支える社会にしよう」で開催します。座長は新理事長の新谷友良氏です。講演とアドバイスに大谷弁護士をお迎えします。パネラーには難聴女性のお二人に、差別解消に向けての考え方や意見を頂き、参加者の皆さんと難聴女性の明るい未来を築く為に何をすべきか？会場の皆さんとパネルディスカッションをする予定です。

沖縄大会では、バザー販売が出来ませんでした。三重はバザー販売が出来るようになりました。全難聴女性部も財政難のため、バザー収益金が貴重な活動資金となります。皆様からのご支援の献品をお待ちしております。数年前から女性部の全国大会が独自で開催が難しくなり、全難聴福祉大会分科会へと移行され開催するようになりました。福祉大会に参加できない方のことも考え、各ブロックの集いをミニ全国大会と称して活発に開催されています。ブロック外の難聴者も参加できて交流の輪が広がってきました。

平成25年4月から総合支援法になり、いつでも要約筆記者が派遣される制度に変わりましたが、皆さんの地域では派遣に問題はありませんか？複数の市町村の居住者が集まる会議の派遣も公費で受けられる制度になりましたが、関東では市町村の財政力格差などにより団体派遣を公費として認めない地域があります。もっと行政と交渉していく必要があるように感じます。

要約筆記を社会に知ってもらうためには、私達がどんどん利用していくことです。行政や地域の行事には、手話通訳と同様、要約筆記を派遣してもらい参加しましょう。難聴者が要約筆記を広めていくことが大切です。権利としてもっともっと利用して声を大にしていくことが大事だと思います。

各ブロックの集い

◆年度に入って、以下のブロックが開催されました。

❖中国ブロック

- ・日 時:平成26年5月25日(日)
- ・場 所:広島市心身障害者センター
- ・実行委員長:丸山香代子

❖近畿ブロック

- ・日 時:平成26年6月8日(日)～9日(月)
- ・会 場:ホテル日航奈良
- ・実行委員長:藤岡 央子
- ・テーマ:「奈良丸ごと体験・近畿ブロック女性の集い」

❖東海ブロック

- ・日 時:平成26年7月12日(土)
- ・会 場:岐阜市民福祉活動センター 2階 大会議室
- ・実行委員長:加藤千津子
- ・テーマ:「自分でとりくむ健康づくり」



～第1回役員会を開催～

26年度、第1回目の役員会開催地は西の最南端山口県に移して、7月4日午から5日のAMにかけて、山口市ふれあいセンター2階集会室で、NPO法人山口県要約筆記連絡協議会の協力を得て開催しました。役員欠席者は3名でした。主な議題の内、全難聴女性部の会計に関する事と、ブロックの集いに対する助成金の見直しについて協議しました。年々財政面で厳しい傾向が出てきたので、引き締めを自覚し、助成金や会計の見直しに色々案を出されたものの、もっと時間をかけて審議するには時間不足があり、結論までにいたりませんでした。また、規約で第9条役員の任期について疑問が出たことにより任期の見直しを次年度の総会までに役員間メーリングで慎重に話し合うこととなりました。会計では本部も苦しい事情があるため、財政アップは期待できなく、女性部として独自の収益金等を全国の皆さんと共に考えていき、内情を理解して頂けるようご協力をお願いすることになりました。

10月に三重県で開催される全国難聴者福祉大会に於いて、バザー販売に力を入れ、1年間のブランクを取り戻すべく役員総出で取り組むことで一致しました。詳細は最終面に掲載していますのでご覧いただき、何時とも変わらない全国各地からのバザー提供品のご協力をお寄せお願い致します。最後に27年度の総会場所は初めて北の札幌市に開催を取り付けました。遠方ですが、皆様の出席をお願い致します。観光は親睦ツアーとして梅雨のない北海道を散策してみたいと案を考えました。詳細は新年号に掲載できるように取り掛かりますのでご期待ください。そして、1人でも多くの参加をお待ちしています。

翌日、5日も朝から役員会を開き、規約や役員の任務などについて審議しました。

26年度県部長会議を開催

当会場で5日、PM13:00から、13県部長が出席し、委任状は8団体でした。サプライズとして札幌市から出席があり感激しました。遠路からありがとうございました。今回も前年度で申しているように欠席の部長には代理を立てて出席するようお願いしてきましたが、代理出席団体は1団体でとても残念に思います。年に数回も会議があるわけではないので県部長はもっと自覚を持ってほしいと思います。会議の内容は役員会の議題と同様に永末部長が財政面で遍泊していること、集いの助成金についても減額の理由等説明をしました。この件で女性部の収益金はバザー販売に力を入れて行くことで協力をお願いされました。財政面難題の為各県から意見はごくわずかで、厳しい状況にご理解して頂ければ助かります。

10月に開催される全国難聴者福祉大会 in 三重大会に於けるバザー販売のご協力について、大会会場では受付等に制限があり、以前のように簡単に受付は出来ない事情のため、バザー提供品の送り方をよく読んでください。ルールを守らないとバザー提供品が行方不明になることもあるのでご注意ください。

規約の任期について役員は全国県部長から選出します。長く役員をやっている方は交代すべき決まりがありますが、なり手がいないのが実情です。県部長会議に委任状を提出された方で役員選出に選ばれた場合、委任状提出でもならざるを得ません。色々と事情もあると思いますが、これも積み残した議題で27年度までには良く考えていく予定です。また年度活動報告を出されている用紙について、事務局が新たに様式を作成したのでこれにて記入し、郵送して頂きます。(FAXは拒否)同時に事務局の負担軽減、節約の為、全国県部長のパソコンアドレスを事務局に預からせていただく事になりました。これは全難聴女性部関係以外には使用しませんのでご了承願います。最後に27年度の総会開催場所は北海道の札幌市に内定しました。親睦ツアーはさわやかな梅雨のない北海道で見ごろを迎えた雄大なラベンダー畑の散策等を予定しています。

第25回全難聴女性部定期総会を開催

26年度で全難聴女性部定期総会が25回目を迎えました。今日まで、総会が順調に継続できましたのは全国女性部の皆様方のご協力とご理解の賜物です。誠にありがとうございました。総会開始は15:15分から、司会者は山口県女性部の中務さん、議長に中国ブロックの福田さんをお願いして開きました。総会資料に沿って、25年度の事業報告、会計決算、今年度の活動報告案、予算案等質疑もなく、欠席者方々の委任状と合わせて全員満場一致で承認されました。

一般社団法人に移行しても、まだまだ問題は山積みありますが、何時もご理解とご協力を厚く感謝申し上げます。また、第25回目を迎えた総会の記念として、この場において、過去に長年活動された元役員の黒瀬智鶴子さん、地元の元女性部長の畑尾純子さんの2名をお呼びして表彰状授与を致しました。おめでとうございます。これからも、地元の女性部活動発展に引き続きご尽力いただくよう頑張っていたきたいと思います。



(第25回総会において記念撮影)

～表彰状を授与して～

7月5日の午後から山口市小郡ふれあいセンターに於いて全難聴女性部の「県部長会議と総会」が開催されました。その席で表彰を行いますと1ヶ月前に連絡を頂きました。でも、私より、他に立派な人材で人徳をお持ちの方も多いい中で候補に挙げて頂いたことはとても嬉しく思いました。この度は役職を離れて初めて自由の身で出席なので軽い気持ちでいましたが、いざ、表彰状を手にしたときは、何年もの重みが詰まっていた感無量でした。まして、大好きな山口で頂けたことは夢のようでもありました。活動のモットーとする「出来る範囲で背伸びをしない」を原点として継続につながられたのは、役員皆様に支えられていただいたお蔭だと感謝の気持ちで一杯です。副品として素敵な電波時計をいただき、秒針のごとく「コチコチ」とこれからも歩いていき、大勢の方々に祝福して頂いた記憶に残る日となりました。前準備など色々とお世話いただきました、地域協会の皆さまと要約筆記者方々に厚くお礼を申し上げます。最後になりましたが、全難聴女性部の益々のご発展とご活躍を祈念しお礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

(全難聴女性部元役員 黒瀬 智鶴子)

山口県で行われた第25回全難聴女性部総会において、全難聴女性部長の永末様より、「多年にわたり、地域の役員として活動努力されました。その功績はまことに大なるものがあります」と表彰いただきました。身に余る光栄なことで、まことにありがたく存じます。

埼玉県難聴者・中途失聴者協会は来年30周年を迎えます。埼玉県女性部は昭和63年に設立して27年経っています。前部長の内野さんから部長を引き継いだ時、私に務まるか不安でしたが、11年間無事に女性部長を務められたことに感謝いたします。挫折しそうな私をある時はやさしく、ある時は叱咤激励して精神的に支えてくださった皆さま方に心からお礼を申しあげます。また、女性大会で色々な所へ行けた事は、見聞を深め、視野も広がり、経験豊かな役員さんや全国の女性会員の方と交流する中で、自分自身を成長させることが出来ました。これまでの活動を続けてこられたのは、埼玉県女性部の皆様と役員の皆様、全難聴女性部役員の皆様、関東ブロック女性部役員の皆様、そして全国の女性会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。これからは身体に気をつけて、自分なりに表彰に恥じない活動をしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

(埼玉県難聴者協会元女性部長 畑尾 純子)

★ブロックの集いの感想から★

東海ブロック「女性の集い in なごや」に参加して

立春を迎え、全国各地でも雛祭りや華やぐ頃、名古屋でも徳川美術館にて恒例の「尾張徳川家の雛まつり」が始まります。子供の頃からお雛様に慣れ親しんでいる私たち28名の面々も、15日に女性の集いを開き、雛祭りを堪能しました。折も折、東京を始め関東甲信地方が記録的大雪に見舞われているときでしたが、三重県や岐阜、静岡の方々には交通遅延にも関わらず駆けつけて下さいました。鑑賞に入る前に、行動にて徳川美術館のガイドボランティアとして活躍されている加藤講師から徳川美術館の成り立ちと、代々伝わる尾張徳川家のお雛様のお話を要約筆記付きで聞きました。この話を聞いたお蔭で、この後に始まる鑑賞も違った趣で見て回ることが出来ました。数ある展示室には、尾張徳川三世代に渡る絢爛たる雛壇や小道具が所狭しと並び、手の込んだ作りに目を見張るものばかりです。中でも、十四代藩主慶勝（よしかつ）の基に嫁いだ矩姫（かねひめ）が花嫁道具として江戸から持ち運ばれたお雛様一式は、駕籠や長持ちから化粧品道具、生地やハサミまで入っている裁縫道具等日用品にも及び、それらを見て回るのに部屋を一周するほどです。徳川家や皇家の他にも、北海道の絹毛を束ねただけのお雛様、鹿児島のお豆雛等、全国各地でかつて飾った庶民のお雛様があり、興味深いものがありました。昼食は、日本料理「宝善亭」にて雛御膳を賞味しました。菱卵石、露のとう味噌かけ、青柳葵和え、胡麻豆腐うすい豆、清汁仕立て蛤糝薯、鯛・烏賊・鮭の造り、大根と鱒の照焼き、若筍・かも団子煮、天子抹茶揚げ、桜エビ炊き込みご飯と、普段味わえないような贅沢感を愉しみつつ、あちこちから炊き込みご飯の「お代わりください」の元気な声に華やいだ昼食会でした。この集いのために準備して下さった役員の方々に厚くお礼を申しあげます。

(名古屋市 高木 いづみ)

～奈良一泊交流会に参加して～

去る6月8日～9日に行われた近畿ブロック女性部一泊交流会に滋賀県から5名参加した。天気は快晴で幸先の良い出発となった。1日目はホテル日航奈良に集合して開会式があり実行委員長ほかの挨拶を終えて、二つの予定コースに分かれての散策。私達はならまちコースを選択したが、ならまちはさらに4コースに分かれて、1コースにそれぞれ引率者3名とボランティア要約が付いていたので心強かった。私が選んだならまちコースはしゃれた店がたくさんあって、その店を見て歩くのだとばかり思っていた。が、まず猿沢の池を見て、国宝の元興寺へと向かい、旧大乘院庭園と歴史をたどるコースだった。元興寺の歴史は古く、千六百年程前に日本で最初の屋根瓦を用いたのが有名である。現在の本堂・禅室の屋根に今も数千枚が使用されているという寺だった。名勝旧大乘院庭園は何度も場所を変え分割されて現在の庭園になったとされた、大きな池、朱色の橋。緑の木々と色のコントラストがとても美しい庭園だった。買い物、喫茶を終えてホテルに戻り、夜の交流会。フラダンスショーは一日の疲れが癒された。2日目は三松寺で法話と座禅体験。座禅を体験したくて交流会に参加したのでとても楽しみにしていた。住職氏の法話はとても分かりやすく難聴者の私達にも分かるように工夫しての法話だったので、御仏に仕える人は違ふと感じた。

あなたの心の平和は、自分と、どう付き合っていくか입니다。幸福や平和は「得られる」ものではなく、諸行無常を「受け入れる」心によって、いつまでもこの瞬間に「気づき、見出す」ことで開かれます。(住職氏の挨拶文より)座禅は目をつぶるものではなく、一点を集中して見る。ここを集中して見なさいと言われた場所はすぐ目の前。そのためか呼吸がうまくできない。深呼吸しようとしても、肩で呼吸するばかり。どんどん息苦しくなってくる。「どうしよう?」と思っていたら、しばらくして自然に深呼吸が出来るようになってきた。

「あ～良かった」と思うも、今度は一点を見続けているのが辛くなってきた。我慢、我慢、長い15分間の終わりの鐘が鳴った時の嬉しかったこと。こんな状態だったので、瞑想どころではなかった。それでも再挑戦したいと思う。結局のところ、歩いた、食べた、おしゃべりした、楽しかったの一言につきる、一泊交流会だった。



(滋賀県難聴者協会 久田三千代)

～東海ブロック「女性の集い in ぎふ」～の感想

7月12日土曜日、晴れ渡る夏の日、岐阜で、東海ブロック女性の集いがありました。参加者36名、席はくじ引き。会場は開始前から、部屋のすみずみまで和気あいあいです。室内を見渡すと県外からの参加者が非常に少なく、各地の行事と重なってしまったのだろうかと思念に思いました。そこへ、各県の報告で、愛知県の女性部がなくなったことを知り、大きなショックでした。会員の高齢化と、役員が

できる人が少なくなったという理由でした。しかし、協会内では、これまで通りの手芸などの例会は続けられているということで、皆さんが集まる場はちゃんとあるんだと安堵しました。三重、名古屋、岐阜、それぞれの地域で、例年通りの会合がもたれていることが報告されました。その後の、県名ビンゴクイズは新鮮で、さびついた頭の中にあやしい日本地図を広げました。くじで運命を共にした近隣メンバーと向き合っの楽しい弁当の時間もまたたくまに過ぎ、午後はお待ちかねのレクリエーションの時間です。私の大ファン、レクリエーション一筋のなべちゃん先生。なべちゃん先生は、体いっぱい頭いっぱい使って、体をほぐし、心をほぐし、隣の人や前や後ろの人までほぐしてしまう魔法をかけてくださいます。いやいや、魔法にかけられたような錯覚で、自分自身の体や頭が、いやでもフル回転稼働となるのです。久しぶりに人肌にいっぱい触れ、乾ききったところとからだを潤ったところで、

お開きとなりました。遠くからお越しいただいた皆さん、準備に携わってくださった皆さん、ありがとうございました。

私はいま、親の介護をはじめ、自分のこれからのことなど、いろんなことを考える年になりました。先輩の皆さん方には教えていただきたいこともたくさんあり、また、皆さんの元気なお姿を拝見することが励みになります。東海の女性部の集いがこれからも大勢の方が集まる場でありますように、そして、いつまでも続くようにみんなで努力したいと思いながら、帰路につきました。

(特非：ぎふ難聴者協会 加藤ゆかり)

今後の「女性の集い」開催案内

❖ 関東ブロック

- ・ 第16回関東ブロック女性部一泊研修「長野の集い」
- ・ 日 時：平成26年11月8日(土)～9日(日)
- ・ 会 場：国重要文化財指定 財団法人 「片倉館」
- ・ テーマ 「長寿と健康」

～誰もが健康でその人らしい人生を送るために

長寿県からの発信～

- ・ 主 催：長野県中途失聴・難聴者協会 女性部

❖ 九州ブロック

- ・ 第2回全難聴女性部九州ブロック 「女性の集い in 熊本」
- ・ 日 時：平成26年10月18日(土)
- ・ 会 場：熊本城下桜の馬場 城彩苑 観光案内所2階
多目的交流室
- ・ テーマ 「ふれあおう!つなごう! 歴史と水のくまもとで」
- ・ 主 催：熊本県難聴者中途失聴者協会

「女性の集い」実行委員会



「全難聴女性部 バザー販売のお知らせ」

「第20回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 三重大会」に於いて女性部恒例のバザー提供品販売を実施します。

バザー提供品を送る場合は下記のように会場から指定されていますので間違いの無いように注意願います。それと提供品を送る方は元払いで、お願いいたします。品物にも値付けをしていただくと助かります。直接持参する方は、全難聴女性部バザー販売の幟がある所へ持参してください。

◆バザー提供品受け取り日時の指定

- ・ 10月24日（金）に必着（宅配便にて）
- ・ **時間指定：18時～20時の間 指定厳守です。**
この間の時間に早すぎても、遅すぎても駄目です。
送り状に必着時間を19時と記入してください。

◆バザー提供品送り先住所

- ・ 〒510-0075
四日市市安島2丁目5-3
四日市市文化会館 第4ホール
福祉大会実行委員会気付
有延 八千代 宛 （バザー提供品と記入ください）

事務局便り

26年度、10月の福祉大会で1年ぶりにバザー販売を再開します。1月の沖縄大会では運送費とかの諸問題があり、実施できませんでした。年々、収益金が減少しているため、三重大会では役員一同が声を嗄らしてバザー販売に力を入れます。今まで同様全国からのバザー提供品を受け付けますのでご協力をお願い致します。提供品については事務局に遠慮なくお問い合わせください。また、第3分科会では、話題となっている障害者差別解消法に傾聴していただき難聴者の差別をなくしましょう。

全国各地でブロックの女性の集いが盛んに開かれています。生き甲斐を見出す活動に共鳴して頂ければ幸せです。皆さん、是非、各地のブロックの集いに参加して見聞を広め楽しんでください。

7月27日、全難聴臨時総会において新理事長は東京都の新谷友良さんに決まりました。

